

News Release

令和7年12月25日

(株) 千代田テクノルによる放射線測定器等の校正にかかる 不適切な対応について

弊社が実施する中間貯蔵事業のうち、放射線測定を行う一部の業務において、(株) 千代田テクノルによって校正等が適切に行われていない放射線測定器等が、弊社から外部委託した事業者等により使用されていたことが判明しています。このことに関して、弊社が発注した業務の受注者（東京パワーテクノロジー（株））から、同社が(株) 千代田テクノルに発注した放射線測定器等の校正に関する調査結果及び評価について報告がありました。

不適切行為が長期にわたり(株) 千代田テクノルにおいて継続されていたことは大変遺憾であり、弊社では令和7年12月25日付けで同社に対して指名停止措置を行いました。また、弊社が発注している関係業務等の受注事業者に対して、今後、本事案の周知と注意喚起を行う予定です。

【東京パワーテクノロジー（株）からの主な報告内容】

○不適切行為が行われた放射線測定器等が用いられた業務等は37件（緑地・施設の維持管理、スクリーニング、防犯点検等の中間貯蔵施設関連業務）

○業務等で用いられた、不適切行為の対象となった放射線測定器等は以下の5種類であり、計206台

- ・電子式個人線量計（143台）
- ・NaIシンチレーション式サーベイメータ（23台）
- ・GM管式サーベイメータ（23台）
- ・高流量ダストサンプラ（10台）
- ・粉じん計（7台）

○これら全ての機器について、再校正及び使用状況の確認等を行った結果、安全性に影響はなかったことを確認

**【参考】(株) 千代田テクノルによる放射線測定器等の不適切な対応について
(令和7年10月30日報道機関向け発表資料)**

令和7年10月30日報道機関向け発表資料



News Release

令和7年10月30日

(株) 千代田テクノルによる放射線測定器等の不適切な対応について

(概要)

(株) 千代田テクノルより、放射線測定器等に関する不適切行為が確認された、との発表が令和7年10月30日にありました。

弊社に関連するものとしては、放射線測定を行う一部の業務において、同社によって校正等が適切に行われていない放射線測定器等が、弊社から外部委託した事業者等により使用されていたことが判明しています。

当該行為が長期にわたり同社において継続されていたことは、大変遺憾です。弊社では該当する機器の使用状況の確認等を進めており、その結果を踏まえ適切に対処してまいります。

なお、現在は、弊社が実施する放射線測定業務では、適切に校正された放射線測定器等を使用しております。

1. 不適切行為の概要

1) 不適切行為を行った者

(株) 千代田テクノル福島営業所の担当者

2) 不適切行為が行われた時期

令和4年9月1日～令和7年9月30日

3) 不適切行為が行われた放射線測定器等（弊社関連）

①NaIシンチレーション式サーベイメータ

②GM管式サーベイメータ

③電子式個人線量計

④高流量ダストサンブラ

⑤粉じん計

⑥電離箱式サーベイメータ

4) 不適切行為が行われた機器が用いられた可能性がある業務の件数（弊社関連）

現時点で計37件（中間貯蔵施設関連業務、詳細については確認・整理中）

2. 弊社が発注した業務における対応

- ・不適切行為が行われた機器については、使用状況の確認を進めるとともに、順次、関係事業者が再校正を実施中。
- ・現在は、適切に校正された機器を使用して放射線測定業務を実施中。
- ・事実関係等の確認を進め、結果については改めて弊社のホームページにて公表予定。